

開拓使

本年二月十五日達金穀出納順序第十四條ニ掲載候通
百般ノ收入及ヒ經費等一周年ノ總額ヲ豫算シ本年
ヨリ毎歲會計年度別冊雛形ノ通計表其外帳簿
共期限通大蔵省へ送達可致尤明治八年分第一葉
計表及内譯明細簿ノ儀ハ達書到著ノ日ヨリ三十日
ヲ限調成シ該地農造可致此旨相達候事
但雛形ノ内科目簿ハ不及差出候事
明治八年五月十八日 太政大臣三條實美

開拓使

収入金穀概計表及内譯明細簿ヲ製スル
ノ順序

第一款

此表ハ一歳中 即會計ノ一歳ニシテ其年七月ヨリ翌年六月迄ヲ云フ以下勅之
收入金穀ノ多寡ヲ統理聚計シテ之ヲ登上シ猶
三ヶ月毎ニ現實收訖口レ負數ヲ記入シ其比ヲ
凡積ノ款額ニ取り一ヶ年五葉ニシテ比較ノ全
キヲ見ルヘシ

第二款

第一葉ノ聚計表ハ一歳収入金數ノ多寡ヲ參査
商量シ遺漏ナク掲記スヘシト雖此計表ヲ差
出スノ後諸税ノ興廢等ニ隨ヒ納額ノ増減スル
アレハ三ヶ月毎ニ其多寡ヲ添加削減スヘシ
但事改アリテ諸税及收入等ノ延納ニ涉ル
ノ類ハ該年ニ属スルノ故ヲ以テ本年ノ部
中ニ算セズ

第三款

前年ニ於テ翌年一歳ノ収額ヲ聚計シタル計表
ヲ第一葉トシ二月二日ヲ限リ其應ヲ發シ第二

葉ハ該年七月ヨリ九月ニテ第三葉ハ十月ヨリ
十二月ニテ第四葉ハ十一月ヨリ三月ニテ第五葉
ハ四月ヨリ六月ニテ各三ヶ月間ツ、累次合算
シ翌月廿日ヲ限リ其應ヲ發シ大蔵省ニ送致ス
ヘシ

但第一葉第五葉ハ各支廳ヲ収束合計スル
勿論ナリトイヘトモ二葉ヨリ四葉ニテハ
各支廳ノ方本廳へ編入方ハ出納勘定帳ノ
成規ニ因ルヘシ

第四款

表面ノ書式体裁ハ左ニ起リ右ニ推歩シ縦ハ八
區ニ分別シ横ハ若干段ニ分界ス其第一區ハ収
入ノ品目ヲ分段シ第二區ハ一歲收入スヘキ九
積ノ負數ヲ掲ケ第三區ハ七月以降諸稅及諸收
入ノ新タニ納付スヘキモノニシテ九積ノ高ヨ
リ増加スルモノヲ掲ケ第四區ハ第一葉ヲ差出
スノ後諸稅及諸收入ノ科目ヲ廢シテ納額ノ減
耗スルモノヲ掲ケ第五區ハ右三區中ノモノヲ
毎段差引タル高ヲ掲ケ第六區ハ七月ヨリ以降
毎三ヶ月現實收入セシ金穀ヲ大藏省ヘ納付シ

タル負數ヲ舉ケ第七區ハ九積ト實納トノ比較
ニシテ甲乙二區ニ分チ甲ハ實納ノ九積ヨリ多
キ高ヲ示シ乙ハ實納ノ九積ニ及ハスヲ削減
セシ負數ヲ舉ケ第八區ハ九積高ノ内ヲ漸次納
付シタル負數ヲ引去リ爾後納入スヘキ負數ヲ
舉クヘシ

但本及七區ノ實納ノ九積ヨリ多キ高ニ
及ハサル高トハ譬ハハ海産ノ諸稅ヲ第一
葉ニ十萬圓ニ見積ルモ實納ノ際ニ方リ十
一萬圓ニ登リ九萬圓ニ下ル如キ納額ノ既

太正

金穀如順乃

石井字少

山年二月七日

定或皆納ニ至ルノ後九積ノ額ト増減ス
ルノ多寡ヲ比較スル爲ニ此一區ヲ設クル
テレハ第二款ニ掲クル諸税ノ興廢ニ隨テ
納額ノ増減アルモノト同視スヘカラス且
第一葉ノ計表ニハ縦ノ二區ヲ限リ三區以
下ハ除クヘシ

第五款

第五葉ノ計表ヲ差出スノ時ハ諸税其他諸收入
トモ皆納ノ後ニアレハ未納高ハアルハカラス
トイヘトモ不得已事故アリテ延納スル片ハ第

五葉ノ計表ハ期限ノ如ク差出シ翌年第二葉以
下ノ計表ヲ差出ス時雜形ノ如ク第五葉ノ副表
ヲ製シ其高ノ皆納ニ至ルニテテ限リトシ差出
スヘシ

第六款

地租正米納見込ノ分ハ米額ヲ以テ石代納見
込ノ分ハ米額ヲ掲ケ傍ラニ米字ヲ以テ石代ヲ附
スヘシ而シテ明細簿ヲ製スルノ際其年ノ石代
金未定ナルカ故ニ前五ヶ年ノ石代平均相場ヲ
用テ 譬ヘハ明治八年ノ稔算ナレハ七年ヨリ以
前五ヶ年ノ石代相場ヲ云フ尤明治八年七

月ヨリ九年六月マテノ概計ハ前五年ノ比較
ヲ取リ難シトスルヲ以テ壬申年ヨリ甲戌年ニ
テ三ヶ年ノ比較ヲ取リ五ヶ年ニ滿ル
マテ一歳毎ニ一ヶ年ヲ増加スヘシ
海産税ノ
如キハ其物品ヲ代價ニ見積リ計表ニ登上スヘ
シ而シテ實際上納ノ額定ルニ隨ヒ其増減ヲ第
七區中ニ掲載スヘシ

但地租ノ如キ實際上納ノ時ニ方リ石代納
ナルモ計表ニハ正納ノ方ト合セラ枰量ヲ
掲ケ朱字ヲ以テ皆石代ヲ附スヘシ改ニ如
此ハ一段中墨朱ノ二行書タル可シ

第七款

第一葉ノ計表ハ一歳收額ノ多寡ヲ豫定シ一般
歳入出ノ目途ヲ立ツル為ニ差出ス處ノモノニ
シテ最緊要ナレハ別冊雛形ニ例ヒ内譯明細簿
ヲ製シ計表ト共ニ差出スヘシ而シテ此明細簿
ニハ前五ヶ年或ハ前十八ヶ月
前々年七月ヨリ
前一年
前年十一月マテ
ノ收額ヲ比較シ本年ノ
景況ヲ參酌シテ逐件詳記シ尤新規徴収ノ諸税
等前五ヶ年ノ平均比較高ヲ取リ難キモノアル
ハ其旨趣纖細記載スヘシ且樺太支廳ノ外ハ若
シ道路阻塞ニヨリ前十八ヶ月平均即前年十二

月迄ノ比較ヲ取り難キハ前々年七月ヨリ前
年六月迄一ケ年間ノ比較ヲ取り五ケ年平均モ
前年六月以前四ケ年半ノ比較ヲ取り其趣旨ヲ
詳記スヘシ尤明治十四年七月以後ハ前年六月
以前全五ケ年ノ平均ヲ取ルヘシ
但前十八ケ月ノ平均ヲ取ル明治八年七月
ヨリニケ年分ハ前一ケ年七年一月ヨリ十
二月ニテハ前一年七年一月ヨリ十
二月ニテノ比較ヲ取り尔後本文ノ通タル
ヘシ

第八款

第一葉ヲ差出スノ後第二款ニ掲クル如キ額
ノ増減アルハ其増減ヲ記シタル内譯簿冊ヲ
離形ノ如ク製シ計表ニ添ヘ差出スヘシ

第九款

數位ハ通貨ハ圓枲量ハ石ヲ一位トシ碎數ハ三
位金ハ厘米ハ合ニ止
ニ止ナルヲ云ニ止ノ大數ハ表面四位コトニ
シテ票スヘシ

租税科目名簿

一 地租

田畑宅地ノ税

山野税

凡右等ノ類ニテ総テ地所ニ属スル税ハ此部ニ編入シ前五ヶ年ノ實額ヲ平均シ其年地券ニ變換スヘキノ目途ヲ參査シテ納額ヲ豫定スヘシ

一 地券税

一 地券證印稅

從前ノ收額ト其年ノ景況トヲ斟酌シテ目
途ヲ定ムヘシ

一 證券印紙稅

印紙稅

界紙稅

右ノ類ハ前十八ヶ月間
則前々年七月ヨリ
前年十二月迄ヲ云

以下平均シテ割出セル一ケ年ノ納額ト
本年ノ景況トヲ斟酌シ目途ヲ定ムヘシ

一 蠶種印紙稅

一 生糸印紙稅

一 繭印紙代

一 真綿印紙代

一 生糸賣買鑑札料

右ノ類前一ケ年ノ收額ヲ目途トシ其年ノ

景況ヲ參酌スヘシ

一 酒類稅

清酒

味淋

焼酎

白酒

銘酒

一 酒類受賣營業稅

右ノ類本年稅額ヲ變更スルヲ以テ其景況

ヲ審查參定シテ目途ヲ立テ以後ハ前一期

ノ収額ヲ目途トシ其年ノ景況ヲ參酌スヘシ

一牛馬賣買免許鑑札税

右前一年ノ収額ヲ目途トシ其年ノ景況

ヲ參酌スヘシ

一銃獵税

右前一期ノ収額ヲ目途トシ其年ノ景況ヲ

參酌スヘシ

一車税

右本年税額ヲ變更スルヲ以テ其景況ヲ參

酌シテ目途ヲ立テ以后以前例ニ倣テフヘ

一船税

五十石以上船税一解澳船並海川小回船税

右前一年ノ収額ヲ目途トシ猶本年ノ収

入ヲ參酌スヘシ

但解澳船ノ類ハ本年税則ヲ變更スルヲ

以テ其景況ヲ參酌シ目途ヲ立ヘシ

一碇泊税並免狀手数料

右前十八ヶ月ノ比較ヲ取ル證券印紙税ニ

同

一官禄税

一家禄税

右前一抄年ノ収額ヲ算定シテ目途トス可

シ

一煙草税

此税ハ明治九年一月ヨリ新タニ興ルヲ以
テ税則ノ頒布アルニ随ヒ前例ニ倣フヲ登

記スヘシ

右件々ハ収入スヘキ租税ノ科目ヲ概記スルノ

ミナレハ此他本支廳ニ於テ旧慣或ハ適宜ヲ以
テ収入スル海陸産諸税小物成ニ至ルニテ税目
毎此振合ニ倣ヒ一廉限リ該額ヲ豫定シ豫算内
譯簿並概計表ヘ記入スヘシ